

【国際共同・連携支援（交流プログラム開発型）】

大学の将来構想に基づき、大学等が自らの特色を生かし、海外の大学等と教育研究活動で連携し、単位互換を前提とした短期交流活動や学生交流などの共同プログラムを実施することなどにより、海外の大学とのより密接な連携に発展することが期待される教育活動の取組を支援するもの。

（採択取組）

取組名称：「国際農学ESDプログラムの構築と実践」

－持続可能な食糧生産を実現するための国際農学ESDの構築とその実践－

取組概要： 我国の働き掛けにより国連総会において採択された「国連・持続可能な開発のための教育の10年」（「ESDの10年」）の理念に基づき、「食料・環境・生物資源利用の分野で国際的に活躍できる人材の育成」を目指した以下の活動から構成される国際農学ESDの構築と実践に関する取組みである。

- 1) タイ王国、インドネシア共和国及びフィリピン共和国の海外協定校と連携した国際農学ESDインターンシップの実施
- 2) 2008年11月に筑波大学で開催される「国際農学ESDシンポジウム」への海外協定校等からの大学院生の招聘
- 3) OJTを目的とした国際機関（UNESCO,FAO等）や本活動の成果発表を目的とした国際会議等へ海外派遣
- 4) 海外協定校、JICA及び茨城大学との連携による、「国際農学ESDプログラム」の開発

取組担当者：瀧川 具弘 教授（生命環境科学研究科）

財政支援の内容：1,000万円の範囲内で支援

補助対象期間：平成20年度（平成21年3月31日まで）限り